

# 海で心を空っぽに



平林 史成

HIRABAYASHI Fuminari

(株)協和エクシオ  
土木事業本部  
土木エンジニアリング部門

## 無心とは

「心のないこと」で、「無心に遊ぶ」という場合には、無邪気なことを意味し、「無心する」という場合には、遠慮せず物品、金銭をねだることを意味する。仏教の術語としては、妄念を離れた「心そのもの」を意味し、そのような精神状態に入る禪定を無心三昧という。

※ブリタニカ国際大百科事典 小項目辞典の解説より

## ●海で無心に遊ぶ

私は全国津々浦々、現場を渡り歩いています。現場ではいろいろなことが起こり、あらゆることに考えをめぐらせなければなりません。ここの地山はどうだ？地下水位は？測量の方法は？マシンはどれを使う？予算は？曲線は？等々、等々。それらを考え解決していくのが現場の楽しさであり、そこにやりがいを感じています。しかし、時には（私にとっては予定のない休

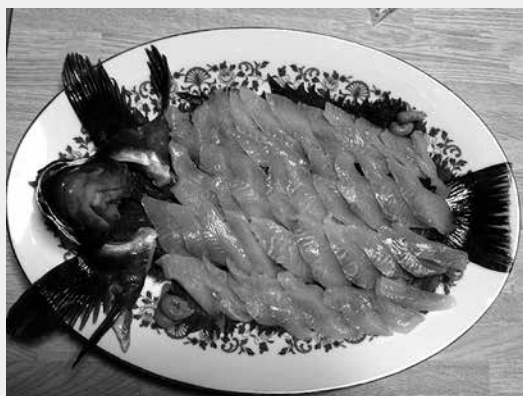
日はほぼ全てですが）心と頭をリセットする必要があります。それが、海で無心に遊ぶこと、魚釣りです。ここでの「無心」は「無邪気」になると思います。釣りをしている最中は、脳はフル稼働しています。エサは魚のいる深さにあるだろうか？魚の活性は低くないか？仕掛けは見破られていないか？等々、等々。しかし、心は純粹に釣りのことだけを考えています、まるで子供のように無邪気に。妄念を離れた「心そのもの」とまでは、いきませんが……。これが私の心と頭のリセット方法です。

## ●釣りのスタイル

私の釣りのスタイルは、時間とお金を極力かけずに楽しむというものです。そのため、船には乗らず、陸からの釣りがほとんどです。必然的に狙う魚も限られてきます。同じ魚を狙う場合でも、地域により海が全



現在いる熊本の海



ふかせ釣りで釣ったアイナメの姿造り



投げ釣りでカレイ

く違うので釣り方も変わってきます。最近では自宅のある神奈川（海まで徒歩5分）から、沖縄に3ヶ月、広島に3ヶ月、熊本に2ヶ月（今後2年滞在予定）と様々な海に行く機会がありました。それぞれの海との相性のようなものもあるようで、私にとって一番良かったのは瀬戸内海でした。ただ単に、実力不足のため他の海に対応できなかっただけかもしれませんが。

## ●自然を無心しない

釣りに行くと釣れる日もあり、釣れない日もありますが、大抵はお土産程度の収穫があります。その収穫をしっかり料理して、大事に食べてその釣りは完結すると思っています。釣りは魚を殺して残酷だという意見もあります。しかし、スーパーで買う切り身の魚も生きていた魚であり、最初から食材ではありません。生きているものを捕らえ、料理し、食する体験により、食材に対する感謝の気持ちを持つことができると思います。というわけで、遠慮せずにねだること、つまり自然を無心することはしない

ようにしています。実際は、無心するというほど釣る腕がないため、結果的に少ない獲物を大事に持って帰ることになっていることには、触れないでください。

## ●最後に

釣りに行く前日は、大物を釣る妄想で眠れないことがほとんどです。大物を釣るという社会的にはどうでも良いことに、大の大人がこれほどわくわくすることも珍しいと思います。それほど純粋な楽しみが釣りにはあると思います。また、自分の子供にも釣りを通して自然の美しさ・怖さを体験させ、食材に対する感謝の心などを少しでも感じてもらえたら良いと思います。これからも上手になりたいけどなれない、やさしい釣り師として海に行き続けたいと思います。



かご釣りでの釣果



カサゴにびっくり